

太陽光発電システムの完成について

工業用水道事務所 鶴新田浄水場に設置工事を進めていた200kWの太陽光発電システムが、平成20年2月22日（金）に運用開始する運びとなった。

今回の完成により、企業局の太陽光発電システムの合計出力は1514.5kWとなり、事業者としては一昨年から引続き中国・四国地方において最大規模となる。また、鶴新田浄水場は既設分と合わせ600kWとなり、県内有数規模の太陽光発電システムとなる。（西之浦浄水場に設置している800kWの太陽光発電システムは、単一の施設として中国・四国地方最大。）

記

1 事業費 約114百万円（税込）

※ 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)の太陽光発電新技術等フィールドテスト事業により、事業費の1/2を負担。

2 効果 CO₂削減効果 年間約120トン（今回設置分のみ）

（企業局の太陽光発電システム全体で年間約920トン）

経済効果 工業用水道施設への設置分全体で年間約830万円

導入効果額（電気使用料金の削減効果と直射日光遮光による傾斜板の延命効果等）から年経費（減価償却費や維持管理費）を差し引いた額

3 概 要

設置年度	平成19年度	平成18年度まで	計
設置箇所	鶴新田浄水場 ※()内は既設分との計	県庁舎、西之浦浄水場 など	
出力(kW)	200 (600)	1314.5	1514.5
予想年間発電電力量(kWh)	216,000 (648,000)	1,440,500	1,656,500
家庭での使用量(戸分)	約60 (約180)	約400	約460
太陽電池モジュール枚数(枚)	1,120 (3,282)	8,073	9,193

- 工業用水道事務所 鶴新田浄水場 太陽光発電システム

